

指定管理者管理運営状況（平成30年度～令和3年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R3年度	公益財団法人 滋賀県文化財保護協会	令和3年度～令和7年度
R2年度		
R1年度		平成28年度～令和2年度
H30年度		

成果情報	H30	R1	R2	R3	備考
利用可能日数(単位:日)	303	282	277	303	
年間利用人数(単位:人)	33,838	40,971	32,499	26,217	新型コロナウイルスの感染拡大による減
1日あたり利用人数(単位:人/日)	111.7	145.3	117.3	86.5	
年間収入(単位:円)	16,009,989	19,370,576	14,925,682	13,329,975	
1日あたり収入(単位:円/日)	52,838	68,690	53,883	43,993	

収入・支出実績 (単位:円)	H30	R1	R2	R3	備考
収入①	153,174,870	156,584,329	149,127,049	156,671,888	
施設利用収入	11,058,060	14,145,350	11,985,710	9,656,740	
指定管理料	132,794,000	134,508,863	134,180,000	134,180,000	
その他収入	9,322,810	7,930,116	2,961,339	12,835,148	
支出②	151,816,618	157,886,110	141,307,932	156,318,199	
人件費	70,575,434	70,861,198	65,425,572	67,891,708	
施設管理費	62,074,612	65,171,978	64,170,141	71,777,784	
事業費	19,166,572	21,852,934	11,712,219	16,648,707	
収支 ①-②	1,358,252	-1,301,781	7,819,117	353,689	

モニタリング実施状況(令和3年度)

報告書の別	内容
年度報告	年次事業報告(令和4年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実施調査	令和3年11月、令和4年3月 実施

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	特別展、企画展の利用者満足度調査を来館者に実施
実施内容	入館者へのアンケート調査
調査結果	<p>・アンケート調査の結果、展示の満足度について、満足、ほぼ満足を合わせて春期特別展で93%、秋期特別展で92%、夏期企画展で95%、冬期企画展で94%となっており、利用者は概ね満足しているデータとなった。</p> <p>【アンケートの主な声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VRを使用した資料作りにも努めてもらいたい。デジタルコンテンツをもっと活用してほしい。 ・身近な遺跡なので興味深い。滋賀の歴史的資料の中にそこに生きていた人々を感じ、興味深く勉強になった。 ・駅から遠いのが残念。巡回バスがほしい。博物館までの道中に看板がほしい。 ・説明文を読むのがしんどくなった。音声の案内が増えるともっと楽しめる。 ・常設展をリニューアルしてほしい。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数や入館料収入等に大きな影響が生じた。また、イベント・体験学習等についても一部中止や参加人数の制限等をおこなわざるを得なかった。

・自主事業として学芸員による展示紹介映像の配信およびストリートビューのように館内をめぐるバーチャル・ミュージアムのコンテンツを作成・公開し、より多くの方々に博物館に親しんでいただくための取組を行った。

・開館から30年近くが経過し、大規模な設備改修や展示見直しが必要な時期となっている。令和3年度には企画展収蔵室の空調機器の更新、第3収蔵庫自動火災報知機の改修、リフトロープの更新、コインロッカーの更新等を行った。今後とも長期保全計画等に基づいて計画的に設備等の更新を行っていく必要がある。また、展示見直しについては、令和2年度に策定した「安土城考古博物館展示基本計画」に基づき、展示改修を進めていく。